

議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書

開催日時	令和5年11月6日（月） 午後3時30分～午後4時30分
開催場所	青森県立青森中央高等学校
会場責任者	澁谷 洋子
記録者	舘山 善也
出席議員	澁谷 洋子、長谷川 章悦、奈良 祥孝、大矢 保、里村 誠悦 渡部 伸広、舘山 善也、柿崎 孝治
参加者数	生徒 12人
報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の仕事、総務企画常任委員会の仕事 ・議員の仕事
意見交換内容 (意見の要旨)	<p>テーマ：移住・定住について</p> <p>【青森市で学校生活を送っていて、暮らしやすいこと、暮らしにくいことはなんですか？】</p> <p>○暮らしやすい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングセンターやお店が学校の近くにあること ・道沿い（堤川）に木が多い、景観が良い ・コンビニが多い ・学校の立地条件が良い（お店が多い） ・雪が魅力 ・水道水がそのまま飲める ・リンゴが美味しい ・ゴキブリが少ない ・夏涼しい ・自転車で通学できる（冬を除く） <p>○暮らしにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・バスが遅れる ・バスの本数が少ない、バスの利便性が悪い ・バス（家から学校）が1時間に1本しかない ・バスが1日に3本しかない ・バス代が高い（新城の自宅から学校まで片道400円） ・青森駅からバス、自転車、親の送迎、徒歩などで通学 ・学校に送迎してもらおうが混雑する ・冬、除雪のかたまりが道路にある

- ・歩道が除雪されていないので改善してほしい
- ・雪が多く大変
- ・ブルの寄せ雪で歩道がない
- ・街灯が少ない（勝田地区）
- ・変質者が多い
- ・横内地区は車道と歩道の分かれ目がない
- ・中心部以外は栄えていない
- ・駅が少ない、乗り換えが不便
- ・遊ぶ場所が少ない、テーマパークが少ない
- ・公園でボール遊びができない
- ・公立大学の周りに友だちと集う場所がない
- ・横内地区のバス停付近は冬になると側溝に雪が捨てられ水があふれている
- ・道路舗装の状態が悪いため自転車が乗りづらい
- ・都会で流行したものが青森まで入ってこない、入ってくるのが遅い
- ・友だちと買い物する場所がない

【進学や就職などで一度県外に出た若者が、将来、どうしたら青森市に帰ってきたくなると思いますか？】

- ・青森の魅力について紹介する（歴史・文化）
- ・自然
- ・ねぶた祭り
- ・空気がきれい、水が美味しい
- ・テーマパークがあると人が集まる
- ・アミューズメントがあること、遊ぶ場所（映画館、娯楽）を増やす
- ・大型スーパー（コストコ）、チェーン店
- ・サイゼリアがないのはなぜ？
- ・店の品ぞろえが悪い（ブランドものなど）
- ・働く場所（会社を含む）を多くする
- ・ねぶたの活性化
- ・観光地や施設に魅力があればよい
- ・大学進学は市内・県内を希望している
- ・賃金を上げる
- ・専門的な学びの場（学校等）が少ない（デザイン系等々）ので多くする
- ・学びの場が街中になく（郊外か山中）ので市街地に移す
- ・交通の便をよくする
- ・若者が遊べる場をつくる
- ・社会人採用枠の会社等を増やす（教員や公務員があるのだから）
- ・安心して暮らせる環境が必要

	<p>【青森市に移住者を呼び込むにはどうすればよいと思いますか？】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ない ・治安が良い ・ねぶた祭りが好き ・雪・海産物が北海道とかぶる（良さを知らない） ・自然をうりこむ ・自然の豊かさを誇る（強調する） ・市内が生活しやすいことを強調する（水道水が飲める、物価が安い、山海ほか食べ物がおいしい） ・交通の利便性を高める ・ねぶたのイベント ・移住体験会を開催 ・アンテナショップで年何回かイベント ・大型ショッピングセンターの立地（仙台市、名取市にある若者に認知されているお店） ・ショッピングモール、アウトレット等をつくる（他都市のモール等のほうが店舗に魅力があり、種類や数も豊富） ・新しいものを取り入れる（遊びの場） ・家から通える ・移住する場所（1、2年でも）があるとよい ・仕事場をつくる ・生活の補助（育児家庭へ） ・奨学金の返済の肩代わりを企業がしてくれる ・弘前は学生や若者が多いので元気なイメージ ・コスト高の部分を考えてくれる政策
<p>記録者所見</p>	<p>高校生の素直で率直な意見・感想を聞くことができ、大変よいカダる会となりました。若い人は都会に憧れ、就職や進学などで市外・県外に出てしまうのだらうと思っていましたが、高校生の本音は「都会に出て行っても疲れてしまって地元に戻ってくる、地元になりたい」というものでした。進学先や就職先のこと、将来、地元・青森市でよりよい生活を送るためにはどうしたらよいか一人一人真剣に考えていることに驚かされました。</p>

※写真添付必須のこと

青森市議会議長 様

令和5年11月30日

上記のとおり報告いたします。

会場責任者 澁谷 洋子

(別紙)

